

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月7日

上場会社名 株式会社ムサシ

上場取引所 JQ

コード番号 7521

URL <http://www.musashinet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 厚一

問合せ責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 青坂 修司

TEL (03)-3546-7710

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	11,445	15.2	697	263.4	739	229.8	355	201.9
19年3月期第1四半期	9,932	△ 10.4	191	△ 77.2	224	△ 75.0	117	—
19年3月期	43,355	—	1,206	—	1,311	—	765	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	44 70	— —
19年3月期第1四半期	14 81	— —
19年3月期	96 35	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	36,760	20,809	56.6	2,618 81
19年3月期第1四半期	33,987	20,082	59.1	2,527 27
19年3月期	36,649	20,528	56.0	2,583 40

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	653	△ 62	△ 133	11,734
19年3月期第1四半期	△ 619	1,470	51	12,870
19年3月期	△ 2,092	1,126	273	11,276

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
中間期	22,432	8.5	1,135	144.1	1,185	130.5	580	116.8	73 02	
通期	44,521	2.6	1,883	56.1	1,939	47.8	1,009	31.8	127 04	

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。

当社グループで製造販売している選挙システム機材につきましては、任期満了前に衆議院が解散されるなど全国レベルの選挙が実施されると需要が一時的に増加し、当社の業績に影響を与える場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰や金利の先高観などの不安定要素を抱えながらも、企業収益の好調さが維持されたことにより設備投資の増加や雇用情勢の改善が持続し、景気は回復基調で推移いたしました。

このような経済環境の中、当社グループの各事業の概況は以下の通りであります。

情報システム機材は、情報の電子化に関わるデジタル関連機器の販売は順調に推移いたしました。情報システムのデジタル加工業務と非破壊検査機器の受注遅延の影響を若干受けました。

印刷システム機材は、印刷材料の販売は順調に推移いたしました。CTPなどのデジタル印刷機器の受注遅延の影響を若干受けました。

金融汎用システム機材は、紙幣整理機や現金収納機の販売は若干落ち込んだものの、鍵管理機などセキュリティ機器の販売が伸長し好調に推移いたしました。

選挙システム機材は、4月の統一地方選挙と7月の参議院選挙に向けた投票用紙計数機や分類機をはじめとする機材の販売が好調に推移いたしました。

紙・紙加工品は、主力の塗工印刷用紙をはじめ、感光材包装紙、クリーニングカードなどの販売が好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高114億45百万円、営業利益6億97百万円、経常利益7億39百万円、四半期純利益3億55百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末時点の総資産は、367億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億10百万円増加しました。

主な増加は、現金及び預金、たな卸資産、投資有価証券等であり、減少は受取手形及び売掛金等であります。

なお、純資産は208億9百万円となり、自己資本比率が0.6ポイント上昇し56.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は前連結会計年度末に比べ4億57百万円増加し、117億34百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は6億53百万円となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益7億16百万円、売上債権の減少4億33百万円等の収入要因がありましたが、仕入債務の減少3億87百万円、法人税等の支払額2億65百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は62百万円となりました。

これは、固定資産の取得による支出66百万円が要因です。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果使用した資金は1億33百万円となりました。

これは、配当金の支払1億22百万円が要因です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね計画通りに進捗しており、前回公表(平成19年5月22日)いたしました中間期及び通期の連結業績予想数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

また、引当金の計上基準などの会計処理については、一部簡便な方法によっております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期末	当四半期末	増減		(参考) 前期末
	(平成19年3月期 第1四半期末)	(平成20年3月期 第1四半期末)	金額	増減率	(平成19年3月期末)
	金額	金額	金額		金額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	12,870	11,734	△ 1,136		11,276
受取手形及び売掛金	8,333	11,726	3,393		12,160
たな卸資産	1,978	2,338	359		2,210
その他	356	484	127		603
貸倒引当金	△ 21	△ 21	△ 0		△ 30
流動資産合計	23,519	26,262	2,743	11.7	26,220
II 固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	1,256	1,200	△ 56		1,208
土地	2,182	2,182	-		2,182
その他	540	531	△ 9		550
有形固定資産合計	3,979	3,914	△ 65	△ 1.6	3,941
無形固定資産	300	206	△ 94	△ 31.3	239
投資その他の資産					
投資有価証券	3,188	3,155	△ 33		3,073
差入保証金	2,524	2,525	1		2,525
その他	542	768	225		720
貸倒引当金	△ 67	△ 72	△ 5		△ 71
投資その他の資産合計	6,188	6,376	188	3.0	6,247
固定資産合計	10,468	10,497	29	0.3	10,429
資産合計	33,987	36,760	2,772	8.2	36,649
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形及び買掛金	8,462	9,758	1,295		10,142
短期借入金	2,952	3,239	286		3,250
未払法人税等	123	381	258		271
その他	1,074	1,268	194		1,187
流動負債合計	12,611	14,647	2,035	16.1	14,851
II 固定負債					
長期借入金	10	6	△ 4		6
退職給付引当金	180	170	△ 10		176
役員退職慰労引当金	563	593	29		596
その他	537	533	△ 4		491
固定負債合計	1,293	1,303	10	0.8	1,270
負債合計	13,905	15,950	2,045	14.7	16,121
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	1,208	1,208	-		1,208
資本剰余金	2,005	2,005	-		2,005
利益剰余金	16,108	16,921	812		16,693
自己株式	△ 5	△ 5	-		△ 5
株主資本合計	19,317	20,130	812	4.2	19,901
II 評価・換算差額等					
有価証券評価差額金	764	679	△ 85		626
評価・換算差額等合計	764	679	△ 85	△ 11.1	626
純資産合計	20,082	20,809	727	3.6	20,528
負債、純資産合計	33,987	36,760	2,772	8.2	36,649

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期	当四半期 平成20年3月期 第1四半期	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	9,932	11,445	1,513	15.2	43,355
II 売上原価	7,911	8,885	973	12.3	34,865
売上総利益	2,021	2,560	539	26.7	8,489
III 販売費及び一般管理費	1,829	1,863	33	1.9	7,283
営業利益	191	697	505	263.4	1,206
IV 営業外収益	51	70	18		172
V 営業外費用	19	28	8		67
経常利益	224	739	515	229.8	1,311
VI 特別利益	23	7	△ 15		13
VII 特別損失	0	31	31		9
税金等調整前四半期 (当期)純利益	246	716	469	190.1	1,316
税金費用	129	361	231		550
四半期(当期)純利益	117	355	237	201.9	765

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期	当四半期 平成20年3月期 第1四半期	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	246	716	1,316
売上債権の増減額(増加:△)	798	433	△ 3,028
たな卸資産の増減額(増加:△)	119	△ 127	△ 110
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 1,638	△ 387	49
法人税等の支払額	△ 236	△ 265	△ 538
その他	91	284	219
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 619	653	△ 2,092
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得等による支出	△ 56	△ 66	△ 248
投資有価証券の取得等による支出	△ 2	△ 2	△ 110
差入保証金の返還による収入	1,500	-	1,500
その他	28	5	△ 13
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,470	△ 62	1,126
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額(減少:△)	126	△ 9	424
配当金の支払額	△ 71	△ 122	△ 143
その他	△ 2	△ 1	△ 7
財務活動によるキャッシュ・フロー	51	△ 133	273
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	-	0	0
V 現金及び現金同等物の増加額(減少:△)	902	457	△ 692
VI 現金及び現金同等物の期首残高	11,968	11,276	11,968
VII 現金及び現金同等物の期末残高	12,870	11,734	11,276